

## 施工説明書 YTB東 / YR東

**大引受Lタイプ**：YTB-1114L・YTB-1320L・YR-1827L・YR-2438L  
YR-3045L・YR-3953L・YTB-4562L  
**大引受Tタイプ**：YTB-1114T・YTB-1320T・YR-1827T・YR-2438T  
YR-3045T・YR-3953T・YTB-4562T

この度は、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。正しく取り付けていただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。

### 安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

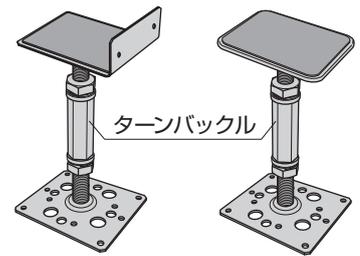
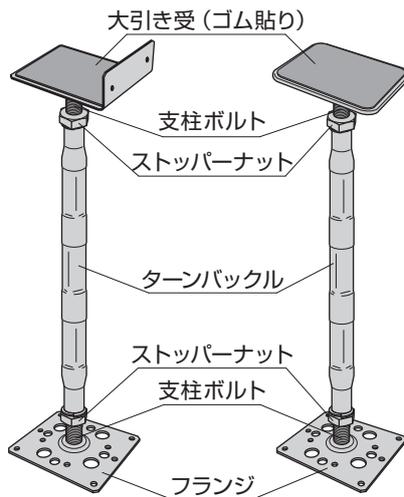
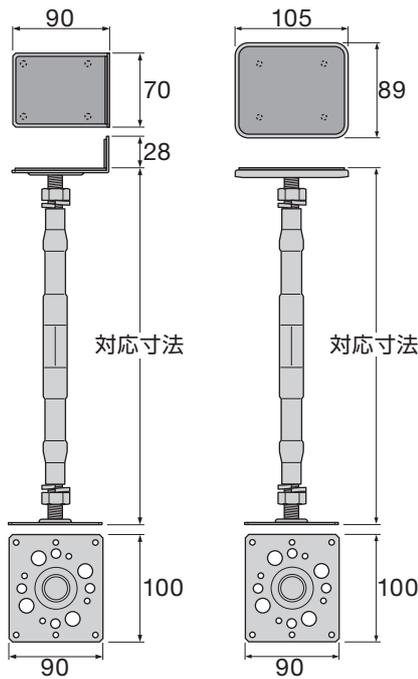
●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

### ⚠ 注意

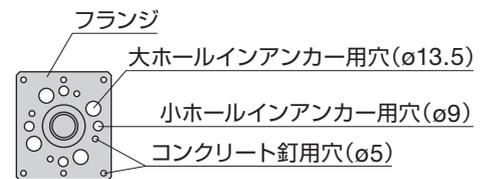
	この記号は、禁止の行為を示しています。
	この記号は、必ず実行していただく指示内容を示しています。
	屋外で使用することを想定していないため、屋外で使用することは避けてください。
	対応寸法以上の高さでは絶対に使用しないでください。
	大引きを支える以外の用途では使用しないでください。破損など事故の原因となります。
	不要な打撃や加熱などを加えないでください。破損する恐れがあります。
	銅、鉛等を含有した薬剤処理物（銅系防蟻処理木材等）との接触・接合は避けてください。付着した場合は、水でぬらした布で拭き取り、乾拭きしてください。
	本製品は金属製のため、取り付け時にケガなどをしないようにご注意ください。
	本製品は、主要構造部扱いとならない床組にご使用ください。
	本製品の取り付け位置（土間コンクリート床または、束石）の表面が水平で、溜水・異物のないことをご確認ください。
	束石の場合は、束石がしっかり取り付けられていることが必要です。
	防湿モルタルの上に施工する場合は、束石をセットするなど防湿モルタルの強度にご確認ください。
	本製品は、3°以上傾けないようにして取り付けてください。
	本製品の下端を釘留めされる場合は、使用する高さに伸ばしロックした状態で行ってください。 ※ロック前に釘留めするとロックできない場合がありますのでご注意ください。
	建物完成後、本製品の最終調整を行ってください。
	本製品の取り付け施工は、施工手順に従って確実に行ってください。
大引きのやせや反りなどが原因で音鳴りが発生することがあります。その際は、本製品を都度再調整してください。	

※接着剤は、当社製品の『つかボンドW』を推奨いたします。[適用量：35～40g/コ]

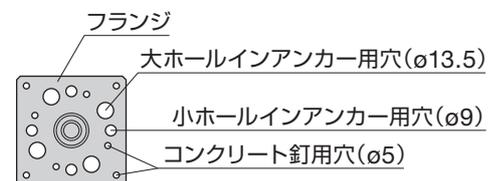
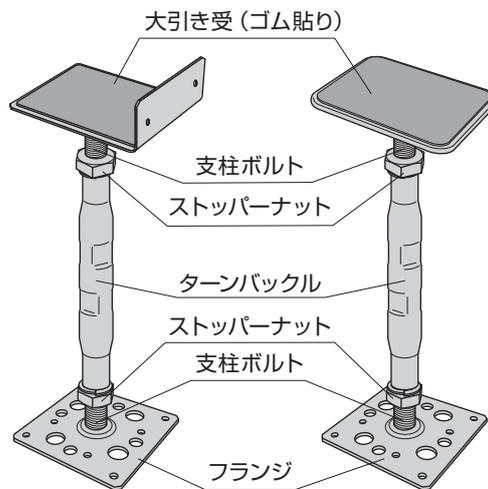
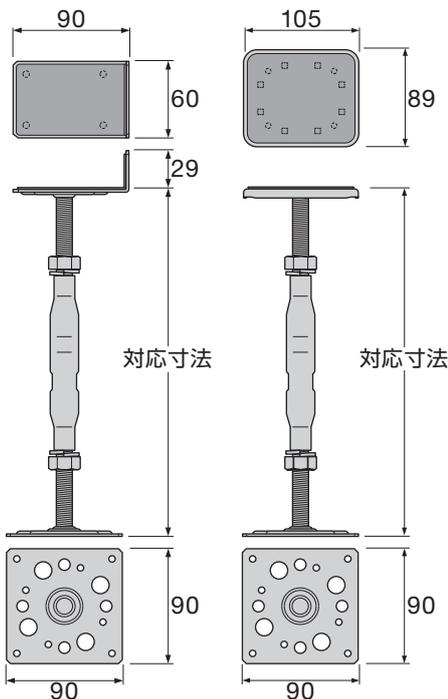
製品寸法図 (単位: mm) / 各部名称 / YTB束



※YTB-1114L/T・YTB-1320L/Tは、  
ターンバックル部が上図のような  
形状となっております。

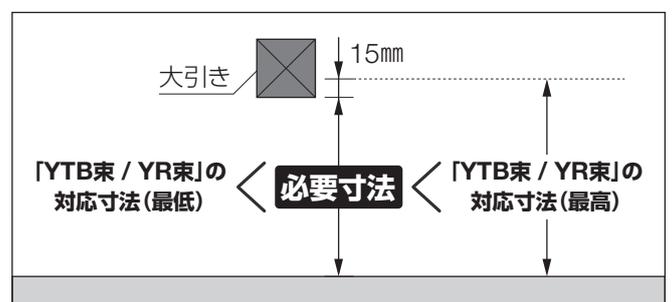


製品寸法図 (単位: mm) / 各部名称 / YR束



施工の前に

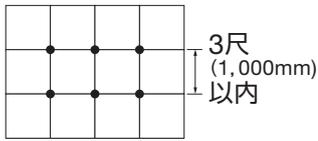
- 本製品の高さ調節および、ターンバックルの固定に必要なスパナ (19mm) を2本準備してください。
- 本製品のフランジ部分を固定する接着剤を準備してください。  
(必要に応じて、フランジ部分を固定する市販のホールインアンカーを準備してください。)
- 本製品は、事後の調整代を考慮し、必要寸法プラス15mm程度の製品をお選びください。



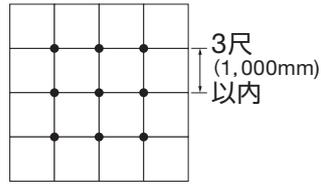
## 施工ルール

※本製品の取り付け位置は、**前後左右、おおむね間隔3尺(1,000mm)以内**となるように取り付けます。

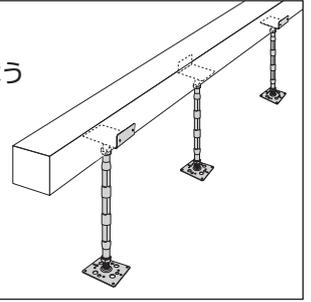
### ●6帖間(6ヶ所)



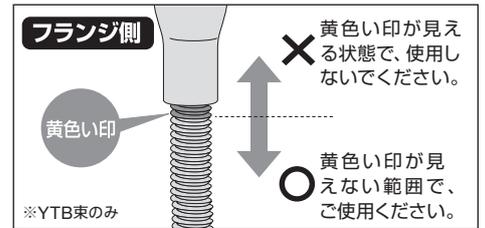
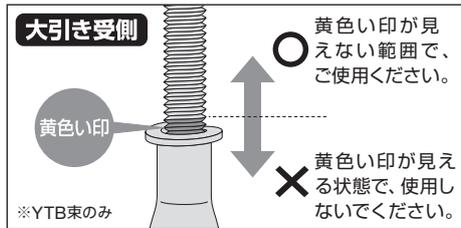
### ●8帖間(9ヶ所)



大き引受Lタイプは必ず千鳥(交互)になるよう取り付けてください  
(Lタイプのみ)



YTB束のみ: 支柱ボルトの黄色い印が見えない範囲でご使用ください。



## 施工手順

**1** 本製品は、大引きを反転させ同梱のビス4本で取り付けます。(市販のビスまたは釘でも構いません。)

### 【注意点】

#### ■共通

ビス取付け時、大引きが乾燥等により硬い場合はビスが折れる恐れがありますので、下穴をあけてください。

#### ■Lタイプ

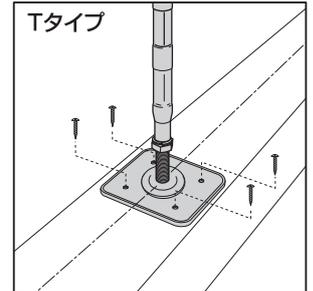
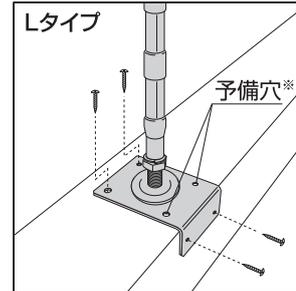
●大引き受のL型が千鳥(交互)になるように取り付けてください。  
※予備穴は、より高い接合強度が必要な場合にご使用ください。

#### ■Tタイプ

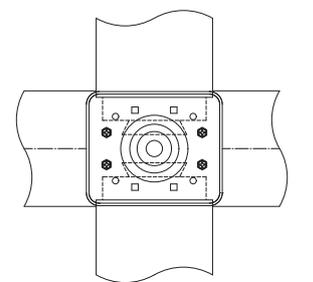
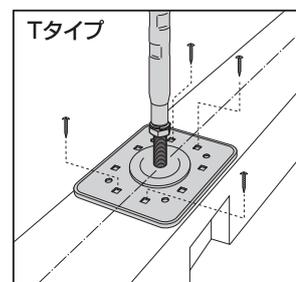
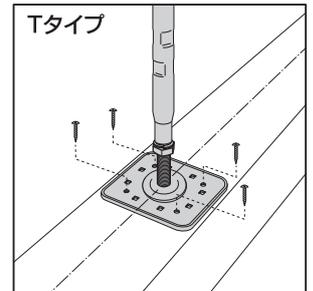
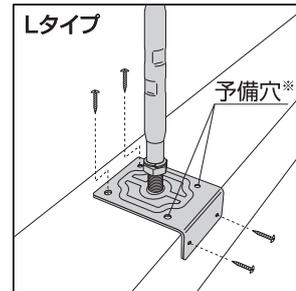
大引き受を大引きの幅に合わせて大引きのセンターに取付けてください。

YR束は取付ビスが仕口に干渉する場合は、四角の穴を利用して取り付けてください。

### ●大引きへの取り付け(YTB束)



### ●大引きへの取り付け(YR束)



**2** フランジ部を固定しながらターンバックルを回転させ、おおむね使用する高さに調整しておきます。

※高さ調整は片方のボルトだけを回さずターンバックルを回転させておこなってください。

### ●フランジ部を固定



### ●ターンバックルを回転させ調整



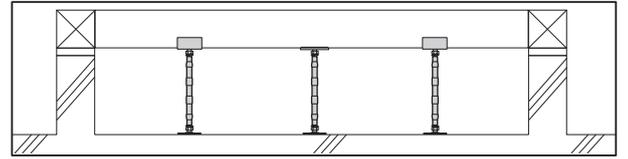
**3 フランジ底面と土間（束石）面のゴミ・汚れ等を取り除き、接着剤**  
をフランジ底面または、土間（束石）面にまんべんなく塗布します。  
次に、本製品が取り付けられた大引きを反転させ所定の位置に  
セットし、フランジの穴から**接着剤がはみ出すまで圧着**します。

※接着剤が硬化するまでに、土間（束石）への固定が必要な場合は、  
同梱のコンクリート釘2本打、または、ホールインアンカー  
（市販品）止をおすすめします。

●接着剤をフランジ底面、または、土間（束石）面へ塗布



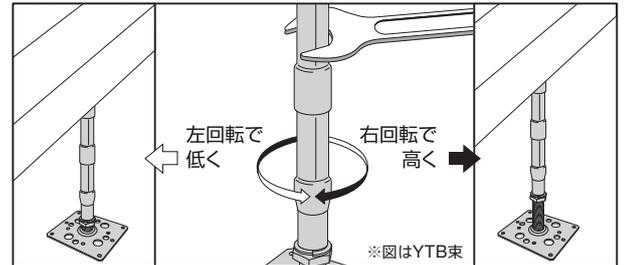
●大引を所定の位置にセット（図はLタイプの場合）



**4 大引き受け・フランジが固定された状況でターンバックルをスパナ**  
（19mm）で回転させ、高さを微調整します。

- ターンバックル**右回転**（時計回り） ⇒ **高くなる**
- ターンバックル**左回転**（反時計回り） ⇒ **低くなる**

●高さを微調整

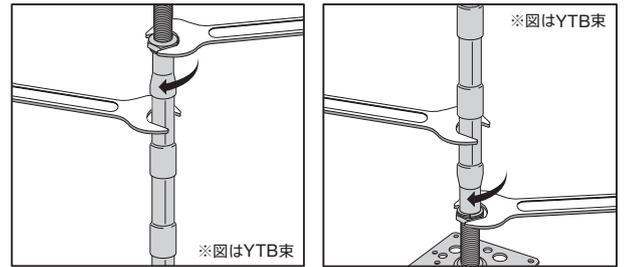


**5 高さ調整後、ターンバックルにスパナを掛けて固定し、**  
**上下のストッパーナットを締め付けてください。**

※上下ナットとも右回転で締まります。

注：上下のストッパーナットの締め付けが不完全ですと固定が不十分  
になり、床レベルの低下や床鳴りの原因となる場合があります。

●上下ストッパーナットを締め付け



## ★建物完成後などに本製品の 高さを再調整するには・・・

上下のストッパーナットをゆるめてから、手順**4**、**5**に従ってください。

●製品仕様

品名	YTB束		YR束				YTB束
品番	YTB-1114L	YTB-1320L	YR-1827L	YR-2438L	YR-3045L	YR-3953L	YTB-4562L
	YTB-1114T	YTB-1320T	YR-1827T	YR-2438T	YR-3045T	YR-3953T	YTB-4562T
対応寸法(mm)	115～142	141～194	192～267	247～382	292～447	397～532	462～617
表面処理	めっき処理（ダクロ相当）						
梱包	25コ／ケース						
	〈取付ビス（φ4×40mm）：100本、コンクリート釘（φ3×25mm）：50本〉同梱						

●別売品：つかボンドW(YSB-03)

本施工説明書の示す使用取り扱い条件を逸脱した場合は、本製品に  
関する性能・品質および構造体の安全性についての保証はできません。

**城東テクノ株式会社**  
ユニークな建材で長持ち住まいをささえます。

本製品に関するお問い合わせは

**ダイヤル【J】0120-106011**  
受付時間（土・日・祝を除く）9:00～12:00/13:00～16:00

城東テクノホームページ

Joto    
https://www.joto.com



Information

※製品の仕様は予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

第①版 2503SK